

運送業界の健康支援を生きがいに

178 業界あげての禁煙支援を

本紙5面にて紹介している 査:ドライバー812人

「感染症を防ぐ職場の1日」のポスターは、テーマがタイムリーということもあり、すでに全国から多くのお申し込みを頂いております。このポスターのコンセプトはズバリ「社員教育」です。時間やお金をかけずに行う社員教育の決定版とも言えます。そして、続いて4月後半にリリースするのは、「禁煙サポート」をテーマにしたポスターです。

たばこの害についてここで触れるのは「今さら感」がありますが、トラックドライバーの場合、健康起因事故の主な原因となっている、脳・心臓疾患発症のリスクであること、換気の悪い車内での喫煙は発がんリスクを高めること、運転中の喫煙は集中力の低下に伴う交通事故も起こしかねないという、ドライバー特有の更なるリスクが伴います。もはや禁煙は、「個人の嗜好」の域を超えて、業界全体の課題として取り組むべき対策と認識すべきではないでしょうか。

■禁煙して海外旅行に

国民栄養調査(平成30年)によると、成人男性の喫煙率は29%にまで下がりましたが、トラックドライバーの喫煙率は、未だにその約2倍の57%と、恐ろしい喫煙率を示しています。(OCHIS調

折しも「改正健康増進法」が4月からスタートしています。「いやに肩身が狭いなあ」と、愛煙者のため息交じりの声も聞こえてきそうです。実はポスターは、「そろそろ禁煙を…」と思いつつも、踏み切れないで躊躇している方や、「禁煙には何回もトライしたけれども挫折した」というような方を、「今度こそは頑張ってね!」と応援するために作成しました。

したがってネガティブ情報には一切触れず、「禁煙する」と、「こないだのこと」というような、ポジティブ情報満載で構成しています。例えば、「禁煙して2日後には以前の味覚・臭覚が戻ってくる」というような身体効果をはじめ、「1日1箱の禁煙を10年間続けると、家族との海外旅行も夢ではない」といった内容の明るいポスターです。

そしてこのポスターは、企業ガバナンスの見える化の役割も果たします。ぜひ、来訪者の目に留まるようにも掲示してください。

(次回は5月11日に掲載)



《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
国土交通省健康起因事故対策協議会委員

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>